

## 幹協主催「分会間交流」開催!



12月2日12時より仙台地本2階会議室において、新幹線職場の仲間同士の連帯と交流を深めるため、新幹線協議会主催では初となる「分会間交流」を開催しました。多くの仲間が会場に駆けつけてくれた中、会の冒頭に近藤議長より挨拶と問題提起がありました。(以下要旨抜粋)

- ・まもなく年末手当が支給となるが、皆さんは会社回答をどう受け取ったか?回答書の内容は私たちの実感と随分乖離していないか?いま一度仲間同士で話し合ってください。
- ・7月の定期委員会、9月の代表者会議で出された声を基に作り上げた『申1号』の交渉では、現場のさまざまな思いを会社にぶつけ団体交渉を行った。今日はその報告を行うので現場に持ち帰り、職場の仲間にともしっかりと内容を返してほしい。
- ・2024年は年初より信じられないような事象が連続して発生した年だった。約1年前、新幹線統括本部長から『列車を止めない、遅らせない』『稼ぐことにこだわる』とのメッセージが出されてから、現場では何が起こったか?あのメッセージのことを職場では忘れてはいないか?いま一度メッセージのこと、その後起こった事を思い返していただきたい。
- ・私たち JR 東労組の価値基軸は『安全・健康・ゆとり・働きがい』である。これを実現するために、今後も現場の声を拾い集め、要求としてしっかりと会社にぶつけていくことを新幹線協議会としても継続していきたい。